

參考資料

浜田市の食育の取組の現状(*心と身体の健康づくり*)

食育推進目標	団体名	現在の取組み		課題・問題	今後計画により取り組むこと	
		対象者	内容			
心と身体の健康づくり	健康的な食生活を実践する	保育所(園)	園児 保護者	・月に1回「昭和の時代の食事」を取り入れている。麦ご飯やめざしなど、粗食や噛むことの大切さを伝える。 ・手作りおやつ	・初めて食べる麦ご飯やめざしなど、普段食べたことがない食材を見て、戸惑うところはあったが、繰り返し経験することにより、食べられるようになった。 ・食事の偏り等のある家庭に対しての関わり方を考えていきたい。 ・市販の菓子の方を喜ぶ子どもが増えている。	・今後も同じように園だよりなどを使って、レシピを提供し、家庭においても取り組みを促すように呼びかけている。 ・降園時など利用して、保護者に直接、健康的な食生活の取り組み方について話をする。 ・子どもたちが自分でどうすることが体に良いのかを知り、自分で考えられる様に考えていく。
		幼稚園	園児と保護者	・弁当や給食試食会を通して栄養のバランスや身体のしくみ等理解する。	・弁当は各家庭によって栄養のバランスや内容に差がみられる。	・食べものと健康の関わりについて感心をもたせる。 ・絵本やペーパーサートなど体をつくる食べ物を教える。 ・栄養素の働きを知り、自分の食べものは自分で選べるよう偏食の弊害を知らせる。(紙芝居、絵本等)
		学校	小学生 中学生 保護者	・生活習慣、食生活に関するアンケート調査により、個別に調査結果を体形、生活習慣、食生活について9つの項目によりグラフ化し改善へのアドバイスをそえている。 ・親子料理教室	・朝食について、欠食とともにその食事の内容(ご飯やパンのみかバナナだけ等)が問題である。 ・おやつは脂肪、塩、糖分が多い内容が多く、量は袋単位になりがち、時間は食事前や就寝前などもある。	・生活習慣病予防のバランスのとれた食事内容。 ・朝食の充実。 ・薄味の習慣化。 ・望ましいおやつの取り方の工夫。
	地域	いわみ中央農業共同組合	組合員、生産者	・食品表示による情報提供		・食品表示による情報提供
		浜田市食生活改善推進協議会	小学生 中学生 保護者	・調理実習他	・食の乱れ ・家庭において手作り料理が少ない。 ・男性の野菜摂取が少ない。 ・塩分摂取が多い。	・バランス食の普及 ・生活習慣病予防のための食生活の普及 ・野菜の摂取量を350gになるような働きかけをする。 ・意識して薄味習慣にする働きかけをする。 ・内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防会の実施 ・高齢者の低栄養予防
		鳥根農政事務所	市民	・食事バランスガイドの普及と活用の促進 単身赴任や子育て世代などのパンフレットを活用し、食の知っ得講座、イベントなどで啓発活動を実施。また、関係機関等を連携しつつ、一層の普及と活用の促進を図る。 ・食育関係者及び関心を有する者との連携強化、情報の共有化を図る。		・食事バランスガイドの普及と活用の促進 単身赴任や子育て世代などのパンフレットを活用し、食の知っ得講座、イベントなどで啓発活動を実施。また、関係機関等を連携しつつ、一層の普及と活用の促進を図る。 ・食育関係者及び関心を有する者との連携強化、情報の共有化を図る。
	生活リズムを整える	保育所(園)	園児 保護者	・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を声かけおたより等で促す。 ・お昼寝をとって睡眠(休息)の大切さを伝える。 ・決まった時間に食事をとる。(お昼ご飯やおやつ) ・お昼ご飯がおいしく食べられるように、体を十分動かすような取り組みをしている。(外遊びなど) ・保護者も園児と一緒にしっかり遊ぶ。	・保護者の生活リズムにふりまわされる。 ・朝ごはんを食べてない園児が多い。 ・朝、登園の遅い子どもは食事がなかなか進まない。 ・間食が多くなり3食が食べられない。 ・生活リズムがみだれてくる家庭に対しての関わり方を考えていきたい。	・入園式で朝食の大切さを呼びかける。 ・行事、参観を通し「早寝・早起き・朝ごはん」を家庭にしっかり浸透させ、生活リズムを整える様、保護者と一緒に取り組めるようにする。 ・毎日の繰り返しで保護者に根気強く伝える。 ・園だよりで啓発していく。 ・調理担当者や保育士が子どもたちの様子を知るために、連絡帳を見て確認する。 ・子どもたちには、エプロンシアターやパネルシアターを使って知らせる。
		幼稚園	園児と保護者	・お弁当の時間を配慮する ・外遊びを体をしっかり動かす時間をとる ・生活リズムに配慮したカリキュラム	・生活リズムが不規則な園児が多くなってきた。 ・子どもの要求に根負けしたり、大人のリズムに合わせたりしている。	・家庭との共同学習として進めていく。 ・具体的な子ども像を職員で話し合い設定する。 ・台所を子育ての場にする。 ・食育の実態調査を進める
		学校	小学生 中学生 保護者	・「早寝、早起き、朝ごはん」の働きかけ。	・学年が上がるとともに就寝時間が遅くなる傾向がある。 ・テレビ、ゲームなどを行う時間が学年が上がるごとに長くなり、情性でこれらと接している傾向にある。 ・外遊びが少ない。 ・家庭との連携が重要である。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣の実行。 ・テレビ、ゲームなどの時間のルール作り。 ・家族団らんづくり。
		地域	浜田市食生活改善推進協議会	小学生 一般 高齢者 男性	・調理実習他	・若い人や子どもの朝食抜きが多い。 ・夜おそくまで起きている子どもがいる。

浜田市の食育の取組の現状(*心豊かな人づくり*)

食育推進目標	団体名	現在の取組み		課題・問題	今後計画により取り組むこと	
		対象者	内容			
楽しくおいしく食べる	保育所(園)	園児 保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング給食やピクニック給食などのクラスとの交流をもち一緒に昼ご飯を食べた。 ・行事食を楽しんだ。 ・子どもたちとクッキングをし、手作りおやつと一緒に作り、食べることを楽しさを知らせる。(桜もち・まき・どろ・うどんなど) ・子どもの誕生日に保護者に来てもらい、お昼ご飯の様子を見ていただきながら一緒に楽しく食べた。 ・食事を楽しむ場(雰囲気)をつくる ・バイキング、お楽しみ給食を実施する ・食事を作った栄養士、調理師(員)と一緒に食べる ・気持ちよく食事をするマナーを伝える(食事のあいさつ、手洗い) ・献立表をとおして、事前にメニューを知らせ食事への興味をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング給食は、好きなものを多く取ってしまいがちになり、栄養のバランスがくずれてしまう。 ・低年齢の子どもと一緒にできる機会を増やしていきたい。 ・友達との会話に気をとられ食事のすまない事がある。 ・マナーの悪い子どもが多い。 ・はしの持ち方が悪い子どもが多い。 ・食事の時間じっとしていられない。 ・家族の中で、それぞれが好きなものを食べている。 ・共働き家庭が多くなり、家族で食事を囲むことが少なくなってきたが、一緒に食べることの大切さについて考えていきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気もてるような環境づくりをする。テーブルの配置・お花(一輪挿し)・BGMを流す。 ・クッキング活動マナーが身につく。 ・年齢に合ったクッキングをする。 ・家庭と連携をとりが声かけをしていく。 ・楽しく食べるための食事マナーを伝えていく。 	
		保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・親子歯の健康教室 ・歯の健康と生活リズムについてのお話 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯のため食が進まない子、食事のかたよりや生活リズムがみだれてくる家庭に対しての関わり方を考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科指導に合わせて、食生活について関心をもつ。 	
	幼稚園	園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当をみんなで食べる。 ・カレーパーティー ・給食試食(年に1・2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食傾向、レトルト食品を使用している家庭が増加 ・作業するのに適していない。 ・試食の回数を教育課程の中で増やせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りおかずや、バランスのとれたお弁当の作り方を家庭教育学級の活動や、園の行事等に参加してもらおう。 ・一家団らんや家族で食事をする楽しさを知らせ啓発していく。 	
			学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生 ・中学生 ・保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング給食 ・セレクト給食 ・交流給食 異学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流給食など機会が少ない。
	地域	いわみ中央農業共同組合	農業体験塾	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え・稲刈り・収穫祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日の日程・場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、野菜苗の植付け、収穫をする。
			<ul style="list-style-type: none"> ・あくりKids倶楽部(小学就学前の子ども)会員 ・こども倶楽部(妊婦さん)会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも・とうもろこし・枝豆等 植付け、収穫 ・収穫時の試食 ・栄養学セミナー 		
		浜田市食生活改善推進協議会	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・孤食の家庭 ・外遊びをしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族そろって食卓を囲む。 ・よくかんで食べる。 	
	心豊かな人づくり	保育所(園)	園児 保護者 高齢者クラブ連合会 祖父父母	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のお昼ご飯の中で、残さず食べることの大切さなどを伝える。お米や野菜など作ってくださった方への感謝の気持ちや命ある魚や肉等「いただきますの気持ち」を込めて食べるように知らせる。 ・参観日、親子遠足、施設見学の場で食に関する体験事業を実施した。 ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの意味を伝える。 ・食物の生命をいただいていることを伝える。 ・栽培、収穫の体験をとおして生命の尊さを伝える。 ・稲の栽培、野菜の栽培。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいなものが少しづつ食べられるように励まし言葉をかけていく。頑張る食べた時には、しっかりとほめて保護者にも様子を知らせる。 ・浜田という土地柄を考えながら、子どもたちに「見て」「触って」「食べて」「聞いて」などの「五感」を深く感じられるような取り組みをすすめる。 ・ホームページや掲示板、壁面製作などをアピールし、保護者や地域の方々に紹介する。 ・野菜作りを保護者にも伝えていくことが大切。 ・地球環境を考えることで私達自身と未来の命を大切にすることを伝えることが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も続ける。 ・食物を大切にするという意味で、一人ひとりの様子を見ながら残食ないように調理員と保育士が協力して盛り付け等に取り組む。 ・保護者に参観日などを利用して献立内容を紹介しながら、一緒に食べてもらい、食材の切り方や味付けを感じてもらおう。 ・畑や田んぼに出かけて、食材になるものを見たり、作り方から育て方や思いを聞く。 ・「食べることの大切さ」に関心や興味を持てるような取り組みを考える。 ・生きものの命をいただいている事で、自分達の体ができていること、食べたくても食べられない子どももいる事を教える。 ・責任を持たせる。(種からまいて野菜、花を育てる) ・自分の命を大切にすることを促す。
			幼稚園	園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝を込めて食事のあいさつをする。 ・栽培、収穫の体験を通して、いのちの尊さを実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培等の体験が少なく関心が薄い。 ・遊び食べ、グダグダ食べる幼児が多くなっている。
		学校	小学生 中学生 保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・給食に地域の産物を使用し、食べ物を身近なものとして学習する。 ・食べ物を残さない働きかけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜が大切であるという意識はあるが、苦手意識も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食に地域の産物を積極的に取り入れる方策を検討する。
地域		いわみ中央農業共同組合	農業体験塾	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え・稲刈り・収穫祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日の日程・場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、野菜苗の植付け、収穫
			<ul style="list-style-type: none"> ・あくりKids倶楽部(小学就学前の子ども)会員 ・こども倶楽部(妊婦さん)会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも・とうもろこし・枝豆等 植付け、収穫 ・収穫時の試食 ・栄養学セミナー 		
		浜田市食生活改善推進協議会	小学生 園児	<ul style="list-style-type: none"> ・畑づくりから作物を育てる ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育ファーム」の取組みの促進を図るため、情報収集及び支援活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材のいのちの尊さを知る。 ・いただきます、ごちそうさまを素直に言えるように伝える。
食の学習を深める		保育所(園)	園児 保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・食材(実物)を見せて名前を伝える。 ・料理の名前を伝える。 ・主食(黄)、主菜(赤)、副菜(緑、白)のそろった食事を作る。 ・食べ物の栄養と健康について伝える。 ・生活リズムの大切さを伝える。 ・配膳の位置の確認。 ・当番活動とおしてお手伝いの機会をつくる。 ・クッキングの機会をつくる。 ・栽培、収穫をとおして食べ物にふれさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも子どもの嫌がるメニューは作らない。 ・レトルト食品が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三色食品群のおもちゃ作り。 ・専門的な立場の方の講演、勉強会。 ・クッキングをすることで食材を教える。 ・声かけをしてくり返し伝える。 ・調理員に食について指導してもらおう。
	幼稚園		園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食品や体に必要な栄養等、講話・紙芝居・絵本等で知る。 ・給食試食会 ・親子クッキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通しての学習が必要であるが、調理するには設備が整っていないので、献立が限られてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスよく食べているか、自らの食生活を主観的に選べるようになる為に親子でチェックシートを使って振り返ることができるようにシートを配布する等配布する。
	学校	小学生 中学生 保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「食の学習ノート」(小学校)を活用して指導。 ・食に関する情報提供「給食だより」の発行。 ・試食会 試食会に合わせて食に関する学習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(幼児期、学童期、青年期など)成長や発達段階に応じた内容で、連携をとった指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科、総合的な学習の時間や関係する教科などに食に関する学習を組み込む。 	
	地域	いわみ中央農業共同組合	農業体験塾	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え・稲刈り・収穫祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日の日程・場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、野菜苗の植付け、収穫をする。
			<ul style="list-style-type: none"> ・あくりKids倶楽部(小学就学前の子ども)会員 ・こども倶楽部(妊婦さん)会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも・とうもろこし・枝豆等 植付け、収穫 ・収穫時の試食 ・栄養学セミナー 		
浜田市食生活改善推進協議会	小学生 園児	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の食材を知らない。 ・家事手伝いをしない、させない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消 ・旬の食べ物を食べる。 ・食事作りの手伝いをする。 		

浜田市の食育の取組の現状(*浜田の風土(自然)を生かした食環境づくり、食文化の継承*)

食育推進目標	団体名	現在の取組み		課題・問題	今後計画により取り組むこと		
		対象者	内容				
地産地消の推進をする	保育所(園)	園児	・旬の食材を取り入れながら地産地消を積極的に 行う。(金城のぶどう・いちご 旭の梨・さつまいも 浜田沖で獲れた魚)		・今以上に地産地消を多く取り入れるなど旬の食材についての情報を各業者に聞く。		
	学校	小学生 中学生 保護者	・学校給食に使用する米は浜田産を100%使用。 ・旬の食材を中心に地域の産物(農産物・水産物)を取り入れるようにしているが、さらに月に1回、自治区の産物を組み入れた統一献立を全市で実施。 ・“給食たより”、“献立表”により家庭などに知らせる。 ・給食に使うデザートはムースを浜田産米で作ってもらい、容器のふたを児童・生徒より募集した。	・使用量が大量なため米以外は入手困難な面があり、自治区により品目、使用量、使用回数にかなり差がある。 ・関係者による検討会が必要である。	・さらに使用品目、使用量を増やせるよう関係方面に働きかける。		
			いいわみ中央農業共同組合	市民	・産直市場	・地産地消	・直売所での消費者との交流 ・生産者の顔が見える、安心して安全な食材提供
	地域	JFしまね浜田支所	一般消費者	・地元でとれた海の食材、山の食材を使った料理を作り、一般消費者と交流をもちながら食について考える。	・開催場所・内容の充実	・「妊娠中の食生活が、どのように胎児に影響していくか」 「離乳食の与え方」などセミナーに取り入れ学習していく。	
			JFしまね浜田支所 中学生 保育園児・幼稚園児 保護者	・地産地消 ・魚とのふれあい、さばき方講習 ・魚食普及	・女性部員の高齢化 ・継承者不足	・浜田は豊かな自然や、豊かな食にめぐまれていることを生かしておいしいお魚を身近に感じられる機会を、より多く取り組みたい。	
	島根農政事務所	市民	・リスクコミュニケーションの円滑な推進 (1)消費者への食の安全に関する基礎知識の普及 「食の知っ得講座(出前講座)」の実施 講座内容:食の安全、食品表示、食事バランスガイド、農薬、トレーサビリティ制度、食中毒(保健所へ協力依頼) イベント等で「移動消費者の部屋」を開設し、消費者の分かりやすい情報の提供 (2)消費者団体、生産者、流通業者、行政等が参加する意見交換会の実施		・リスクコミュニケーションの円滑な推進 (1)消費者への食の安全に関する基礎知識の普及 「食の知っ得講座(出前講座)」の実施 講座内容:食の安全、食品表示、食事バランスガイド、農薬、トレーサビリティ制度、食中毒(保健所へ協力依頼) イベント等で「移動消費者の部屋」を開設し、消費者の分かりやすい情報の提供 (2)消費者団体、生産者、流通業者、行政等が参加する意見交換会の実施		
浜田の風土(自然)を生かした食環境づくり、食文化の継承	環境に配慮した食生活を実践する	保育所(園)	園児 保護者		・海に環境により、獲れる魚の種類が大きいく関係しているのではないかと疑問を持った。	・環境について、詳しく調べる為に、地域に出かけて、いろいろな体験をしながら学ぶ、その事柄を発表会や地域のイベントを通じて発表する。	
	浜田の食文化を継承する	保育所(園)	園児 保護者 地域の人の	・そば打ち、用すじ、こんにゃく、お茶料理、お花見料理などを地域のおいしいちゃんおばあちゃんから教えてもらう。 ・餅つきやどんと焼き、七草がゆなど一緒に作る。 ・浜田の郷土食である「いか飯」を高校生と一緒に作った。 ・さばの煮食い・板わかめのおにぎりなどの郷土食を献立に取り入れる。 ・どんちっち餅を園庭で炭焼きにして食べた。 ・地元の食材、旬の食材を使う。 ・行事食、郷土食を献立に取り入れる。(イカめし、そば、豆腐、こんにゃく、まき、もち、だんご)	・地域のお年寄りなどに呼びかけ、お年寄りの経験や智慧を借りたい。 ・核家族や若い世代が多くなり、郷土食への関心がうすれている。 ・職員一人ひとりが浜田の食材や行事食に関心を持って関わりたい。 ・園全体で取りくもうとすると季節感のある食事が提供できない。	・毎年続けていく。 ・地域の方や卒園児と一緒に交流をもつ。 ・郷土食のよさやすらばらしさを見直し、家庭においても多く取り入れてもらうように促す。 ・保護者に作り方や保育園での取り組みの様子を知らせる。 ・三世代クッキングをして保護者に伝統食や保存食、昔の智慧などを伝えていく。 ・無理をせず簡単な伝統食を続ける。	
		幼稚園	園児と保護者	・各月行事食(かしわもち・もちつき・鏡開き等)を作って食べる ・必要に応じて地域の人や保護者に参加してもらう	・保護者の世代とも若くなり、浜田の風土を生かした食環境が減少している(魚をさばけない等) ・行事食に関して大切に思われていない傾向がある	・地域への情報発信と協力体制の整備(食改、自治会等との連携)を積極的に取入れる	
		学校	小学生 中学生 保護者	・学校給食において旬の食材や地域の産物を使って、郷土食や行事食を可能な限り取り入れるようにしている。 ・食に関する指導の場面で郷土食や行事食の食文化を知らせ、学習する。	・食数が多く、短時間に安全で安心という条件を踏まえた上での給食の提供であるので、かなり限られた内容になる。 ・浜田の食文化を勉強する。	・親子料理教室などで取り上げる。 ・“給食たより”により家庭などに知らせる。	
		地域	浜田市食生活改善推進協議会	小学生 一般 高齢者	・調理実習他	・行事食や伝承料理が少なくなった。	・次世代へ伝えるための調理実習 ・地元食材を使う。 ・地産地消の理解を深める。
			くずの花	5歳から12歳までの子どもとその保護者	・「まちの食体験事業」行事食、伝統食づくり		・継続して実施する。
			高齢者クラブ連合会	園児	・わらを使ったものづくり		・継続して実施する。
JFしまね浜田支所	JF関係者他 市民 中学生 保育園児・幼稚園児 保護者		・伝統料理食の見直し ・郷土料理講習会	・女性部員の高齢化 ・継承者不足	・浜田は豊かな自然や、豊かな食にめぐまれていることを生かしておいしいお魚を身近に感じられる機会を、より多く取り組みたい。		

リスクコミュニケーションとは…
食品の安全性などリスクに関する情報および意見の相互交換をすること。

浜田市食育推進ネットワーク会議規約

(目的)

第1条 近年、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、食習慣の乱れや栄養バランスの偏り等により生活習慣病の低年齢化や子どもの肥満傾向の増大等、さまざまな問題が生じるとともに食の安全性への関心も高まっている。

このような中、子どもの「食」を取り巻く関係各機関が連携し、次世代を担う子どもたちの心身の健やかな成長を促すための食環境づくりを推進する。

(組織及び委員)

第2条 浜田市食育推進ネットワーク会議(以下「会議」という)は、別表に掲げる団体をもって構成し、委員は構成団体からの推薦をもってあてる。

なお、新たに構成団体(委員)を加える場合は、会議の了解を得ることとする。

(会長)

第3条 会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会議を総理する。

(会議)

第4条 会議は、必要に応じ会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

(事業内容)

第5条 会議は、目的達成のため次のことを協議・連携・推進する。

(1) 食育についての施策を検討・支援・推進するため、関係者により情報交換及び相互の連携に関すること。

(2) 「つくる」「食べる」「交流する」を目的とした食体験事業に関すること。

(3) 食育推進に係る市民への啓発に関すること。

(4) その他、食育の推進に必要な事項に関すること。

(作業部会)

第6条 会議は、事業を円滑に推進するため作業部会をもって構成し、部会には、部会長1名を置く。

2 部会長は、委員の互選により選出し、部会を総理する。

(事務局)

第7条 事務局は、浜田市役所子育て支援課保育係に置く。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、会議及び作業部会の運営に関し必要な事項は、会長及び部会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

平成 19 年度 浜田市食育推進ネットワーク会議委員

団体	氏名	職名
JA いわみ中央	吉田 千恵	JA いわみ中央 総務課
漁業協同組合 J F しまね	吉本 礼二	浜田支所長
浜田市保育連盟	竺川 紹隆 岩田 博子	会長 調理部会長
浜田市教育研究会 幼稚園部会	廣瀬 美子 直江 悦子	浜田市立原井幼稚園 教頭 浜田市立長浜幼稚園 教頭
浜田市教育研究会 養護部会	松本 和恵	浜田市立上府小学校 養護教諭
浜田市高齢者クラブ連合会	船附 克己	事務局
浜田市食生活改善推進協議会	宮本 美保子	会長
浜田市 PTA 連合会	松坂 めぐみ	母親委員会委員長
子育て中保護者	河上 恵美	
中国四国農政局島根農政事務所	北村 一美	地域第一課 消費経済係長
浜田保健所	佐々木 真子	企画員
学校給食	中 京子	浜田市学校給食センター 原井小学校栄養教諭
くずの花	川本 八重子	
浜田市 教育総務課 農林課 水産課 地域医療対策課 子育て支援センター 事務局 子育て支援課	高原 謙治 鎌原 浩治 小寺 良昌 齊藤 稔哲 松山 レイ子 河野 洋子 大弥 育子	施設給食係長 主任主事 主事 医療専門監 事務長 課長 主任栄養士